

祓戸神社

平安時代(794-1185)の初期に建立されたこの小さな神社は、二之鳥居付近の手水所のそばにあります。ここに祀られている神は、瀬織津姫（祓いの神）です。この場所では年に一度催される、春日大社にとって一番重要な春日祭の、最初の儀式である祓戸の儀が行われます。

春日大社の本殿へと通じる二之鳥居をくぐった参拝者は、儀式として近くの手水所で禊をした後、祓戸神社に立ち寄ってお参りをします。

神道において参拝者は、神への敬意を示すため、また、神のお目に適うために、祈りの前に自らの心身を清めることが求められます。